

別府市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成 30 年 5 月 9 日（10：00～11：00）

場 所：レセプションホール

◆意見要旨

開会

事 務 局：21 人の出席により、規約を満たしている。

1 報告

(1) 委員の交代について

（事務局説明）説明内容省略

2 議題

(1) 平成 29 年度 事業報告について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）なし

（協議結果）原案のとおり承認

(2) 平成 29 年度 歳入歳出決算について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）以下のとおり

会 長：繰越が大きくなっているが主な要因は？

事 務 局：報酬の不要額、視察旅費の不要額が大きかったことが主な要因となっています。

（協議結果）原案のとおり承認

(3) 平成 30 年度 事業計画（案）について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）以下のとおり

委 員 ①：おでかけマップ、スマート時刻表は観光客にも好評だった。今年度、修正及び増刷についてのお願いだが、良く使う部分の時刻表や本当に必要な注意書きのみを載せるなど、使っている現場の意見を取り入れて修正していただくように検討していただきたい。

事 務 局：今回、全面的に見直しを行いたいと思っているので、委員の皆様にも御相談させていただき修正して参りたいと思います。

（協議結果）原案のとおり承認

(4) 平成30年度 歳入歳出予算（案）について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）なし

（協議結果）原案のとおり承認

(5) みんなのタクシー実証運行計画（変更案）について

（事務局長説明）説明内容省略

（質議応答）以下のとおり

会 長：3日連続して使いたい時に3日連続して電話する必要があるとのことだが、どう変更するのか？1回で予約を済ませるということか？

事 務 局：例をあげると、月火水で利用されたい方がいた場合、これまでは金月火に予約の電話が必要だった。それを前の週の月曜日に1回の電話で予約が出来るようになります。

委 員 ②：今回のダイヤの変更と予約受付の変更については、運輸支局の方に届出を出していただければと思うが、今のところ実証運行で期限は9月末となっている。10月以降継続されるということであれば一定程度前から手続き等が必要になる。今のところの見通しがわかっているならば教えていただきたい。

事 務 局：実証運行は9月末までとなっており、それ以降は本格運行ということで考えていますが、その際にはタクシー協会、バス会社の方々と十分協議したうえで本協議会にて御審議させていただきたい。

（協議結果）原案のとおり承認

3 その他

委 員 ③：ひとまもり・おでかけ支援事業について

昨年の10月から3月までの半年間の販売状況について、購入者の延べ人数6,236人、実購入人員は4,708人、1人4.38冊を購入、70歳以上の方の約16.1%の方が購入している。また、実際にバスの利用については、41,210,000円の回数券に対し25,638,860円が利用されており、利用率は62.2%となっている。

次に購入した方のアンケート結果について、買い物などに出かける回数が増えたという意見が多かった。また、不便な点については降りる際に手間がかかるという回答だった。

ICカード化についての要望が多かったため、担当課としても検討しているが、問題点として、コンビニ等のお店でも使えてしまうため、その問題をどうクリアするかを協議しているところである。

また、未購入者にもアンケートをとっているが、ワンコインにして欲しいという意見が多いが、財政等の状況により現在の方法を続けていくのが最善の方法かと思っている。

委 員 ④：バス乗務員の意見を聞くと、今まで乗られてなかった方が乗るようになったとことで非常に良いと思っている。指摘のあった、千切って降りるのが手間だという点については、運転手が千切ってあげたりとサービスで対応できるのではと思っている。

免許返納でニモカを配っていた時も買い物で使われていた。

これからの高齢化社会を考えると今回のお出かけ支援でかなり満足度は高いと思うし、ICカードやワンコインとなると財政に負担がかかるので、事業者としては是非やって欲しいというものではない。大分市についてもワンコインバスをやめられなくなってしまっているのも慎重にやって欲しい。

会 長：最初から目的としていた高齢者のお出かけ回数が増えたということは狙い通りになった。事業者の方には御負担をおかけしているが今後とも同じような形でやっていこうと思うのでよろしく願いいたしたい。

委 員 ⑤：お客様に喜ばれているのは感じている。大分交通としてもワンコイン化については財政負担が大きくなるので慎重にして欲しいと思う。一方でIC化については検討の余地があると思う。回数券については精算業務に人件費が発生しているなど時代に逆行している。また、高齢者と言ってもICカードを使ってきた世代が高齢者になっており、バリアフリーで難なくタッチしていく。最後にIC化をしていかなければ、大分県のICカード事業自体が縮小してしまう。高齢者になるとICカードを返納していく。大分市もICからワンコインに、別府市もICからワンコインになると大分県のICカード規模が縮小していつってしまうので、それを踏まえてIC化については研究を進めて行く必要はあると思っている。

会 長：いただいた意見を踏まえて、より良い使い方が出来るような形に今後検討していきたいと思えます。

事 務 局：本日はお忙しい中、お集まり御審議いただきありがとうございました。次回の協議会につきましては日程を調整し決定次第連絡をさせていただきたいと思えます。

閉会